科名　血液内科

対象疾患名　再発又は難治性のB細胞性急性リンパ性白血病

プロトコール名　ビーリンサイト 体重45kg未満　6-9サイクル目

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	・・・	84
1	点滴注	メイン	デキサート注 生理食塩液	19.8mg 50mL	30分で投与 投与終了後30分経過後 ビーリンサイト開始	↓																														
2	点滴注	メイン	ビーリンサイト 注射用水 生理食塩液 生理食塩液	15μg/㎡ 3mL 250mL 20mL	10mL/時間で投与 24時間経過したら残破棄で交換 使用するルートは薬液でプライミングする 要フィルター 生食は270mLとする	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓		

★1クール＝84日

～MEMO～

催吐レベル1(10%未満)

・day1～28に1日15μg/㎡(上限28μg)を持続点滴し、56日間休薬する(最大4サイクル)

・副作用の発現を軽減するため，治療前に骨髄中の白血病性芽球の割合が50%超又は末梢血中の白血病性芽球数が15，000／μL以上の場合には，デキサメタゾンによる治療を行った後，本剤を投与することが望ましい。デキサメタゾンは静脈内投与で1日あたり10mg/㎡/以下を最長5日間まで投与が望ましい。

・副作用により投与を中断した後，投与再開する場合は，投与中断期間が7日以内のときは投与中断期間を含め28日間を同一サイクルとして投与し，投与中断期間が7日を超えたときは，新たなサイクルとして投与すること。投与中断期間が14日を超えた場合は，投与を中止すること。また中断後の再投与前にはデキサメタゾンの投与を行うこと

・輸液ルートは調製した溶液のみでプライミングすること(生理食塩液ではプライミングしないこと)

・過量投与等の原因となるため，輸液バッグ交換時や投与終了時に投与ラインや静脈カテーテルをフラッシュしないこと

・2時間以内の中断は臨床試験では許容された

調製方法

生理食塩液250mLに生理食塩液20mLを加え、そこに輸液安定化液5.5mLを加えたのちに、注射用水3mLで溶解したビーリンサイトを必要量加えること

Blinatumomab versus Chemotherapy for Advanced Acute Lymphoblastic Leukemia
N Engl J Med 2017; 376: 836-847